

ドローンを活用した測量を実施 安全・スムーズな作業を後押し

能登半島地震が発生してから1ヶ月が経過いたしました。避難所生活の長期化を受けて被災地では応急仮設住宅の建設が急務となっています。こうした中、当社の「ドローン減災士」の資格を持つ社員が1月19～21日に石川県珠洲市を訪問し、ドローンに搭載した高精度なカメラで仮設住宅の建設予定地の面積や地面の亀裂などの状況を確認し、測量などのデータとして必要な画像を上空から撮影、データの提供を行いました。

今回は JUIDA からの依頼による派遣でしたが、ドローンを使用することで安全かつスムーズな作業が可能となりますので、今後も要請に応じて支援を続けてまいります。

